



2015.11.11

No26

全釧路教職員組合

「教育全国署名」各支部で取り組んでいます! 教育環境改善のために、あと一歩前進させましょう!

教育全国署名の取り組みが、各支部、分会で進められています。10月末までの各支部での取り組みの様子を紹介します。

各支部から、昨年からさらに一歩進めた取り組み、職場での取り組み、地域の人とつながった取り組みの様子が報告されました。10月末の時点で全ての支部で取り組みが進められているということが、すごいですね。

教育全国署名の取り組みは、11月末までです。子どもたちに豊かな教育を保障するために、ともに奮闘しましょう。



▼各支部の取り組み(10月末)～全ての支部で取り組みが進んでいます!

●弟子屈支部

- ・奥春別小分会では、職場や地域、元同僚、知り合いなどから30筆の署名を集めました。
- ・各職場で取り組むことが支部会議で確認され、取り組みが進められています。
- ・少年団などのつながりを生かして署名に取り組んでいる分会もあります。

●標茶支部

- ・各職場で取り組むことが支部会議で確認され、取り組みが進められています。
- ・支部会議で、署名をお願いできる方を確認し、9日にお願いに行くことになっています。

●白糠支部

- ・組合員の職場、家族の職場、その他様々なつながりを生かして、70筆を超える署名が集まっています。

●阿寒支部

- ・各職場で取り組むことが支部会議で確認され、阿寒小分会では20筆以上、その他の分会でも取り組みが進められているところです。

●鶴居支部

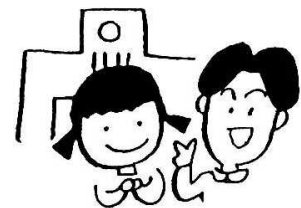
- ・職場での取り組みの他、前任校でお願いしていた方にもこれから訪問する予定です。

●音別支部

- ・組合員、家族分の署名で、すでに12筆となっています。

●厚岸・浜中支部

- ・各職場で取り組むことが支部会議で確認され、まず、支部会議の場で組合員と家族の署名を行いました。その後、太田小分会では18筆、その他の分会でも取り組みが進められているところです。



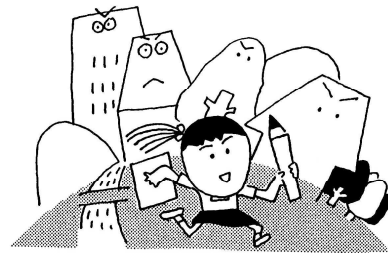
- ・原水禁大会代表派遣カンパのお礼や参加報告の際に署名をお願いし、23筆集まりました。
- ・厚岸介護福祉労組にも署名用紙を預けて取り組みをお願いしています。

●釧路町支部

- ・各職場で取り組むことが支部会議で確認され、取り組みが進められています。

●釧路市支部

- ・各職場での取り組みが進められています。No.24でお知らせした取り組みの後も、各分会から署名が集まっています。



今後の取り組み・日程

①米海兵隊移転訓練反対全道集会

- ・日時：11月22日(日)13:30~16:00　・場所：釧路市国際交流センター(釧路市幸町)
- ・講演：島洋子さん(琉球新報東京報道部長)
戦争法の下、沖縄で何が起きようとしているのか、矢白別と結んでお話しします。
- ・講演後、デモ行進(サウンドデモを準備しています。)

②第3回連続教育講座

- ・日時：11月28日(土)13:20~17:00　・場所：星が浦教育会館
- ・講座：「今を生きる教師のためのしたたかな養生論」
- ・講師：間宮正幸さん(北大特任教授、北海道子どもセンター運営委員長)
- ・講座の後、間宮先生を囲んでの交流会があります。また、その後、新加入の組合員歓迎会も行います！



③支部代表者会議(支部長・書記長合同会議)

- ・日時：12月4日(金)18:30~
- ・定期大会総会化の具体について、各支部での討議をもとに検討します。

▼「こゆび」(こわせ・たまみ)~短所も裏返せば長所になることもある

ネ	明日の	ちいさな	それでも	おやつ	みかん	バナナ	ゆび	こゆび	こぼした	スプーン	おはしも	ゆび	こゆび	
できる	約	さな	ちいさな	の	も	も	は	は	こぼした	も	も	は	は	こゆび
でしよ	束	な	な	おかし	むけ	赤	赤	赤	こぼした	も	も	は	は	こゆび
	まん	な	な	も	ない	ちゃん	ちゃん	ちゃん	こぼした	も	も	は	は	こゆび
	また			つま	い	だ	だ	だ	こぼした	も	も	は	は	こゆび
	明日			め	い	から	から	から	こぼした	も	も	は	は	こゆび
				ない					こぼした	も	も	は	は	こゆび
									こぼした	も	も	は	は	こゆび
									こぼした	も	も	は	は	こゆび
									こぼした	も	も	は	は	こゆび
									こぼした	も	も	は	は	こゆび

「こゆび」は「ゆびの赤ちゃん」だと見立てています。喩えはイメージを作ります。「赤ちゃん」ですから「小さい」「一人では何も出来ない」といったイメージになります。

一連、二連では、こゆびは「赤ちゃん」だからだめということを繰り返しています。繰り返されることで、できないイメージはますます強まります。

しかし、三連では、「ちいさなこゆび」だからこそ、他のゆびと違って自分の役割、値打ちがあると対比しています。「ゆびきりげんまん」は「ちいさなこゆび」だからこそできるのです。

「ちいさな」ということは普通はマイナスのイメージですが、かえてそれが役に立つというプラスになることもあるのです。そして、こゆびだからこそできることが「ゆびきりげんまん」という、人と人とを結びつける、相手とつながるものであるということがおもしろいですね。

人間も、ものごとも、長所ばかりとか、短所ばかりということはありません。長所も裏返せば短所となり、短所も裏返せば長所となることもあるのです。

この詩の「こゆび」を、「大きなかぶ」のねずみのように、小学校の中での1年生に重ね合わせてみることもできます。私たちの組合も小さくなって、以前と比べて出来なくなったところも目に付きますが、一方で、小さくなったことの機動力を生かし、「こゆび」のように人と結びつき、つながることで、存在感を発揮できることもあります。戦争法反対の取り組み、教育署名の取り組みにも、その姿を見ることが出来ます。